

まえがき

彦根市長 和田 裕 行

彦根市および彦根市教育委員会では、子どもたちが文化芸術活動を通して自己表現できる機会を提供するとともに、豊かな心と感性を育て、将来の文化芸術活動の後継者を育てることを目的に、平成二十二年度から「ひこね子ども文化芸術奨励事業」を実施しています。

今年度もこの事業の一環として、子どもたちの豊かな表現力(考える力・書く力・伝える力)を育むため、「ひこね子ども文芸作品」を募集し、俳句、川柳、短歌、詩の四部門に、延べ三、八八八人の子どもたちから、六、〇五四点もの作品が寄せられました。たくさんの方にご応募いただき、本当にありがとうございます。

皆さんから応募いただいた作品を拝見していますと、一つひとつの言葉に、思いや感じたことが凝縮しているように感じました。季節の移り変わり、日頃から取り組んでいること、生活の中で考えたことや感じたことが、皆さんの五感を通じ、言葉となって紡がれていて、作品からは、自分自身と向き合った真摯な姿勢が伝わってきました。皆さんが思いを巡らせて作られた感性豊かな作品は、読まれる人の心にきつと響くことでしよう。

この入選集に掲載されている作品をはじめ、多くの文芸作品に触れることで、自分自身ではまだ使ったことのない素敵な言葉や表現に出会うことがあります。そうした出会いや創作活動を続けていく中で、言葉や表現は一層多彩になっていくことでしよう。これからも、皆さんが言葉や表現の世界をさらに広げていくことを期待しています。

最後になりましたが、彦根文芸協会の皆様には、作品の審査をはじめ、「夏休み文芸ワークショップ」の各部門の講師等、多大なるご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

これからも、明日の彦根を担う子どもたちの健やかな成長を、温かな目で見守っていただきますよう、関係各位の皆様にお願い申し上げます、発刊に寄せる言葉とさせていただきます。

令和七年 三月